大日本帝國政府

昭和十七年行政簡素化實施經過

（地方廳關係）

一、昭和十七年六月十六日行政簡素化實施要領ヲ閣議決定セラレ、同月一日現在定員ヲ基礎トシテ左記標準ニ依リ官吏定員ヲ減少スルコトトナル。

中央官廳	三割
地方官廳	二割
作業廳	一割

二、右閣議決定ノ實施ニ對シ警保局事務當局ニ於テハ警察消防關係ノ戰時下職責ノ重大性ニ鑑ミ除外乃至ハ減率ヲ要望シタルモ、上局ノ決定ニ依リ結局閣議決定ニ付テハ特例ヲ求メズ、實施上

大日本帝國政府

警察消防關係ニ於テハ出來得ル限リ輕減ノ方途ヲ講ズルコトトナル。

三、八月二十一日閣議ニ於テ簡素化減員數ノ正式決定アリ。警察關係地方廳減員數ハ左ノ如クナル。

警視	一〇〇人（二割）	
消防司令	二人（二割）	
警部	三六一人（二割但シ練習所勤務者ハ作業廳扱トシテ一割）	
警部補	一、一七六人（二割但シ練習所、署外勤ハ作業廳扱トシテ一割）	
消防士	一一人（一割作業廳扱）	
消防機關士	四人（同上）	

主任警部	四人	（同　上）
警部	一一人	（二警部補ノ減員ニ代ル）
警部補	一一、七六人	（二警部補ノ減員ニ代ル）
巡査	三六一人	（二警部補ノ減員ニ代ル）
警視廳合	二人	（二警部）
總數	一〇〇人	（二警部）

附記　警視廳職員定員ハ法令ニ定メラレタルモノニシテ警察關係ノ職員ニ於テハ現在員ヲ以テ定員トスルモノ多シ。

三、八月二十一日閣議ニ於テ警察官吏出張員ノ五九名宛ヲ警察關係ノ職員ニ於テハ現在員ヲ以テ定員トスルモノ多シ。

警察官吏出張員ニ於テハ現在員ヲ以テ定員トスルモノ多シ。

消防士補	一一人	（同　上）
消防機關士補	四人	（同　上）
巡査	一二、二二三人	（二割但シ駐在所、署外勤、練習所勤務者ハ作業廳扱トシ一割）
合計	一四、六二五人	

四、右決定數ノ實施ニ當リテハ豫テ警保局ノ要望セル警察消防ノ重要性ヲ斟酌シ左ノ通リ特例ヲ認ムルコトトナル。

イ、警察署長タル警視、警部、警部補ノ減員ハ他ヘノ振替ヘヲ認ムルコト

ロ、警察署勤務（非作業廳扱）ノ警部、警部補ノ減員中二分ノ一ハ他ヘノ振替ヘヲ認ムルコト（即チ事實上ハ作業廳扱ト

ハ、消防官吏ノ減員ハ全部他ヘノ振替ヘヲ認ムルコト

而シテ右ニ依ル他ヘノ振替ヘハ左ノ如ク措置スルコトトナル。

イ、前記イ及ハニ依リ警視及消防司令六十一人ノ減ハ内務部内ノ他ノ高等官ノ減ニ振替フルコト

ロ、前記イ及ロニ依リ警部百九十人、警部補三百七十二人計五百六十二人ノ減ハ巡査ノ減ニ振替フルコト

ハ、前記ハニ依リ消防士、消防機關士、消防士補、消防機關士補及消防手ノ減合計七百六十三人ノ減ハ全部巡査ノ減ニ振替フルコト

ニ、巡査ノ減員一萬二千二百二十三人ハ右ロ、ハノ振替ヘヲ受

ハ、消防官吏ノ減員ハ全部他ヘノ振替ヘヲ認ムルコト

而シテ右ニ依ル他ヘノ振替ヘハ左ノ如ク措置スルコトトナル。

イ、警察官吏ノ減ハ警視ノ警部ノ警部補ノ巡査ノ減員中ニ振替ヘヲ

ロ、警察官吏ノ減ハ警視ノ警部ノ警部補ノ巡査ノ減員中ニ振替ヘヲ

ハ、消防官吏ノ減ハ消防手ノ減員中ニ振替ヘヲ

合計　一四、六二五人

巡査　一二、二二三人（内訳　警視ハ消防司令ノ減ニ振替ヘヲ一、警部ハ消防士ノ減ニ振替ヘヲ二）

警部補　四人（同　上）

警部　一一人（同　上）

ニテ、巡査ノ減員二、二百二十五人ハ直ニ之ヲ補塡スベキ筈ナルモ、

警視廳ニテハ合計百六十五人ノ減ハ全部巡査ノ減ニ補ハレ、前項ハ別ニ警視一、警視補十、警視補十、警視補十

六名ノ警視ニ對シ警部ニ對シ巡査部長ニ對シ巡査ニ對シ警部補ニ對シ巡査ニ對シ巡査部長ニ對シ巡査ニ對シ巡査部長ニ對シ巡査ニ對シ巡査部長